



ボルネオ島の熱帯多雨林の 保全・利用と修復を学ぶ

参加者
募集

国際交流プログラム2026

世界で最も生物多様性の高いボルネオ島の熱帯多雨林をテーマに、現地のムラワルマン大学森林学部との間で実施する短期交流プログラムです。1960年代からインドネシア政府の進めた開発によって失われた熱帯多雨林の保全と持続的な利用、そして修復の現場を実際に訪問することで、熱帯多雨林について包括的に学習することが可能なプログラムです。

Keyword：生物多様性，非木材林産物，ボルネオ鉄木，遺伝子資源

日程

インドネシア渡航プログラム 2026年9月14日－9月27日(予定)

ムラワルマン大学学生受入れプログラム 2026年6月19日－6月29日(予定)

※渡航と受入れがセットです。

開催地 (渡航)

ボルネオ島東部 インドネシア東カリマンタン州サマリンダ市と周辺地域

募集 対象

京都府立大学，三重大学，京都大学で森林科学や環境科学を学ぶ学部生・大学院生
熱帯雨林の保全や修復，動植物の生態系，木質資源の有効活用と温暖化対策などに高い関心を持つ学生。英語能力ならびに日常会話程度の英会話能力は必須。

募集 人数

3大学合わせて12名

※応募多数の場合 主催者側で選考を実施。

選考結果は2月中に応募者宛にメールで連絡予定。

参加費

3万円＋海外旅行保険料金（1.4万円程度）＋ビザ取得費用（2万円程度）

（現地までの旅費及び現地での宿泊費は主催者側で負担します。）

締切

2026年1月31日（土）



主催

ムラワルマン大学森林学部

協賛

株式会社林田順平商店

※詳細は次ページ(裏面)参照

募集要項

全体スケジュール

募集期間
～1/31



参加者決定
2月下旬



事前研修
3月下旬(1泊2日)



受入れプログラム
6/19-29



渡航プログラム
9/14-27

渡航時の内容(予定)

- ・ムラワルマン大学学生との国際交流, キャンパス・研究サイト見学
- ・大学スタッフによるボルネオ熱帯多雨林の生物多様性とその保全・利用に関する英語講義
- ・大学の研究林や国立公園など熱帯多雨林の見学
- ・ボルネオ鉄木(現地名:ウリン, 英名:ピリアン, クスノキ科広葉樹)の植林を中心としたアグロフォレストリー援助プロジェクトへの参加
- ・現地の歴史と木材利用を学ぶカルチュラルツアー



申込方法

リンク先のフォームをご利用ください >>>>
<https://forms.gle/8TPPkMjDEhpgjSuo8>



注意事項

- ・渡航プログラムは関西空港発着, 関西国際空港集合・解散で, 途中参加/途中離脱はできません。現地滞在は9/15-26の12日間です。日程はフライトの都合等で若干前後する可能性があります。
- ・主催者側が設定する海外旅行保険(約1.4万円)への加入とインドネシア入国時のビザ(C-9)取得費用(約2万円, インドネシア国内の基準で金額変更の可能性あり)が必須です。いずれも自己負担です。
- ・受入れプログラムではムラワルマン大学学生を招聘し日本(主に京都, 三重, 大阪)で研修を行います。研修の企画運営の全部または一部に参加していただきます(講義等の都合には配慮します)。
- ・参加者は3月26-31日の間に1泊2日で実施予定の事前研修に必ず参加していただきます(@京都府立大学環境科学部附属演習林)。
- ・本プログラムは現地で熱帯林修復の資金援助を行っている(株)林田順平商店の援助により格安の費用で参加が可能です。



主催

ムラワルマン大学森林学部
Faculty of Forestry, Mulawarman University
<https://fahatan.unmul.ac.id/>

協賛

株式会社林田順平商店
<http://jhayashida.co.jp/>

問い合わせ先

京都府立大学 神代 圭輔 (生命環境科学研究科) ✉ kojiro@kpu.ac.jp
三重大学 淵上 佑樹 (生物資源学研究科) ✉ fuchigami@bio.mie-u.ac.jp
京都大学 神崎 護 (京都大学名誉教授) ✉ kanzaki.mamoru.j90@kyoto-u.jp
上記3名と協賛企業から林田元宏氏など3名ほどが手分けして随行する予定